かぜ・そら・たいようぐみ クラスだより

11月

風が冷たくなり、本格的な冬の訪れを感じます。11月はたくさん戸外に出掛け、秋の自然に触れてあそぶことができました。今年も残り1ヵ月。成長を感じながら、元気いっぱいに過ごしたいと思います。

かぜぐみ

朝夕は肌寒くなり、夕方園庭に出る時は「ながそでできる！」とロッカーから出して着ています。

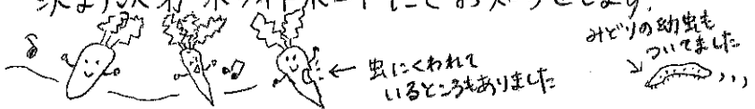
今まであまり着ていない服を着れることが嬉しいようです。寒くても戸外で身体を動かす楽しさを無理なく知ってほしいと思います。　16日(火)に初めてそら、たいよう組と共に収穫感謝祭の礼拝の時を持ちました。心を穏やかにして、手を組み、主任が話す言葉に耳を傾けます。話の内容は少し難しかったかもしれませんが"共にお祝いできた"ことが何よりの喜びです。その後、職員が演じる収穫感謝祭の劇を見てとても楽しんでいた子どもたちです。

お弁当嬉しいな♪

10月から園外保育へ行き、お弁当を食べています。みんなでお弁当を持って出かけられることを、とても喜んでいます。どちらかと言うと"出かける"よりも今は"お弁当"を楽しみにしています。目的地へ向かって歩きだし、ほんの数分経ったあたりから、「あ～おなかすいたな～」「おべんとうたべたいなぁ…」と頭の中はおうちの方が作ってくれたお弁当のことでいっぱいです。まだ何も遊んでないし遊んでから食べようと声を掛けると「え～!!はやくたべたい！」と声が大きくなります。目的地に到着し、遊び始めると夢中になっていますが、保育者が「そろそろお弁当食べようか」と言うと普段は「もっとあそびたい」と訴える子どもたちが、すぐに集まり「うん！たべよう」とリュックの置いてある場所へ走ります。リュックからシートを出して広げ、「つなげよ～」「こっちにすわろう」と友だちと場所を相談して決めたり、場所はどこでも良いけれど、友だちや保育者の近くにシートを敷いたりと様々です。おうちの方が作ってくれたお弁当の温もりを感じながら戸外で友だちと食べられることは本当に幸せで嬉しいことです。これから寒くなるのでお弁当を持って出掛けることはありませんが、春が近づいてきた頃にまた行けるといいなと思います。

大根を使って…

先日、収穫した大根を子どもたちと食べようと思います。日時は未定ですが、近々クッキングをする予定なのでエプロンと三角巾の準備をお願いします。詳細が決まり次第、ホワイトボードにてお知らせします。



そらぐみ

今月は劇あそびを中心にあそんできました。公開日試でも書いたように、"つもりやごっこのイメージを豊かに広げ、表現する面白さを味わう"ということに焦点を置いて進めます。初めは絵本の世界に入り、好きな役になってやりとりを楽しんでいましたが、役が決まり、他クラスをお客さんに迎えることを知ると、一気にそのことを意識して、"それじゃあ、おきゃくさんわからへんで！"と子ども同士指摘したり、"はずかしい"とふざけてみたり、"ドキドキするけどたのしみ"という姿に変わり、子どもたちの心が動いている様子が見えるようになってきました。小道具を作り、子どもたちと一緒にセリフや流れを考えたことで期待感を膨らませて迎えた当日！見てもらうことを初めて経験する子どもたちは、普段より張り切って演じる子も、照れ隠しにシチューの野菜をひっくり返す子も、いつも通り、やりとりを楽しむ子も…とそれぞれで、それでもやはり、みんなでできた達成感は一人ひとりしっかり感じていたと思います。劇あそびは自分以外の何かになりきり、感情移入することで他者の気持ちを考え、表現することや、集団の中であそびを広げる面白さを知ること等、今の子どもたちに経験してほしいと思う要素がたくさん含まれています。次回は演じる役のことを知ったり、意見を出し合い一つの劇あそびをもっともっと深めていけたら良いなと思っています。

たいようぐみ

◎やきいもパーティー◎

春から育ててきたサツマイモを収穫し、11月初めにやきいもパーティーをすることが出来ました。苗植えをした時、プランターの土を耕して、沢山出てくる幼虫をみんなで見つけ出したのが懐かしく感じます。グループごとに毎日水やり当番を回して、季節ごとに成長する様子を見守りながら育ててきました。だんだんと葉っぱが増えて生い茂り、ツルが伸び、プランターの外にまで根を張っていました。収穫の場面では、みんなスコップ片手に夢中で掘り始めます。小さいお芋から大きいお芋まで、自分の顔と合わせて比べてみたり、みんなで掘ったお芋を段ボールに集め、どんどん増えていくお芋に「やったー！」「すごいな！」と友だちと喜び合ったりする姿がありました。一通り掘ったかと思うと、次は友だちと協力して手で土をかき分け、「まだあるかもしれんから！」と一生懸命掘っていた子どもたちでした。念願のやきいもパーティー当日、お芋を1つずつ丁寧に洗い、濡らした新聞紙とアルミホイルで巻く工程をグループごとに役割分担して準備していきます。お芋が沢山あったこともあって準備に時間がかかってしまいましたが、給食を食べてからみんなで炭のところにお芋とりんごを投入しに行き、焼き上がりを楽しみに保育室で過ごしました。お昼寝なしの日だったので、みんながお昼寝している間に屋上で焼き芋と焼きりんごを食べました。前のめりになり、目をキラキラさせながら、保育者がアルミホイルをめくるのを見ています。ホクホクの焼き芋を割って見せると「うわ～！」「めっちゃいいにおい！」と、とても良いリアクションで大興奮でした。みんなで一斉に一口食べると、目を見開いて友だちと顔を見合わせ、笑顔が溢れる場面が沢山あって、とても楽しいやきいもパーティーになりました。11月は収穫感謝祭もあったので、自分たちで育てる経験や育てたものを頂き、喜んだり感謝したりする経験の大切さを子どもたちにも少しでも感じてもらえる機会になったかと思います。

◎いよいよクリスマス

11月初めからクリスマスごっこを始めて、色んな役も楽しんだ中で先日役決めをしました。1番やりたい役になれず子どももいれば、友だちと被り、どう決めるか話し合って、その中で「2番目の役でもいいよ！」と譲る子どももいたり、じゃんけんやくじ引きをしたりして決めた子どももいます。役決めの前に話し合いをした時、1役ずつどんな役割があるか聞いてみました。"マリアとヨセフがいなかったらイエス様は生まれてこない""羊かいがいなかったら羊の番をする人がいない""天使がいないと赤ちゃんがイエス様って分からない、羊かいにも伝えられない"など、他の役ももしいなかったら…？の質問に考えて答えていました。どの役が欠けても劇が成立しないので、みんながみんな希望していた役につくのは難しいところではありますが、どの役も大切な存在で、1つの劇を作り上げる為にみんなで協力する大切さや、役になりきって自信を持って表現する楽しさを感じてもらいたいです。クリスマス本番まであと1ヵ月をきっています。今年はお家の方にも見に来て頂けるということで、気分が高まったり、恥ずかしくなったり、緊張したり、色々な姿があると思いますが温かく見守っていただき、去年は経験出来ず、見てもらえなかった分、一人ひとりの成長を感じてもらえる場になればいいなと思います。